

アイヌ語ペンクラブと北海道エスペラント連盟による
北海道における言語の権利を守り、発展させるための協定書

アイヌ語は、アイヌ民族の固有の貴重な文化であり、なくてはならない先住民族の言語です。また同時に、アイヌ語は世界中の様々な人々にとっても、その豊かな文化や考えに触れることのできる大切な言語です。

北海道においては、歴史的不正義の側面も持つ明治以降の植民地政策によって、先住民族アイヌが文化的・経済的・政治的に差別を受け、非常に困難な状態におかれまして。かつてはアイヌ語は滅びるといわれましたが、そこから力強く立ちあがりアイヌ語新聞を出版しているアイヌ語ペンクラブのみなさんを北海道エスペラント連盟は心から尊敬します。

北海道エスペラント連盟は、自己の言語に差別を受けずに使う権利、言語権を擁護する運動を、その活動の大事なひとつとして取り組んでいます。「アイヌ神謡集」のエスペラント語版を出版し、(一財)日本エスペラント協会の機関誌「ラ・レヴオ・オリエンタ」に、貴クラブのアイヌ語新聞の記事を下地にしたアイヌ語の記事を掲載しました。

エスペラントは、かつて時の独裁者から激しく弾圧を受けた歴史を持っています。それは、ヒトラーからであったり、スターリンからであったり、日本の軍国主義からであったりしました。エスペラントは、平等な言語による、民族の友好と世界各国の平和を求める運動とつながっています。

アイヌ語ペンクラブは、エスペランチストの少なくない人々がアイヌ語とアイヌの人々の生活に深い関心を持っていることを評価します。

以上の、相互理解のもとに、私たちは今後さらなる協力関係をつちかい、北海道における言語の権利のために協力します。また次のように機関誌交換をするものとします。

- ① 北海道エスペラント連盟はアイヌ語新聞「アイヌタイムズ」を今後も有料で定期購読する。
- ② アイヌ語ペンクラブは北海道エスペラント連盟の機関誌「ヘロルド・デ・ヘル」の電子版を無料で購読する。

2020年11月14日

アイヌ語ペンクラブ会長 萱野志朗

北海道エスペラント連盟委員長 横山裕之

